

かとう

中野区議会議員
自民党

国土交通省出身 工学博士
ワクワクする区政へ!!



<http://www.kato-takuma.com/>

活動レポート Vol.5

自民党
現職最年少

39
歳

加藤たくまプロフィール

学 歴 等

昭和54(1979)年7月3日

ひつじ年O型

東京都中野区生まれ

ほぜんじ幼稚園、中野区立仲町小、中野第九中、都立富士高、
中央大理工学部土木工学科、中央大学大学院理工学研究科、
博士(工学)取得

略 歴

中央大理工学部教育技術員(助手)、
国土交通省国土技術政策総合研究所研究官、
国土技術研究センター研究員を経て、
2015年中野区議会議員初当選



主 な 活 動

自民党中野総支部青年部長、
中野区議会厚生委員会・少子高齢化対策調査特別委員会委員、
中野区社会福祉協議会理事、中野区都市計画審議会委員、
都立富士高アメリカンフットボール部後援会会長、都立富士高同窓会若竹会理事、
2018年度東京青年会議所中野区委員会委員長(JC)、
第42回わんぱく相撲 中野区大会副会長、中央大学理工学研究客員研究員、
あおいちゃんを救う会(10日間で1億円の募金活動の成功)、
中野区検定「ものしり博士」取得、
第13回マニフェスト大賞 政策提言賞ノミネート(2018年)

趣 味

野球、フットサル、ゴルフ、水泳(TAC経験者)、
ジョギング(東京マラソン・山中湖マラソン完走)、プログラミング、データ分析

発行:中野区議会自由民主党議員団
〒164-8501 東京都中野区中野4-8-1
TEL:03-3228-8872
FAX:03-3389-7586

編集:加藤たくま事務所
〒164-0013 東京都中野区弥生町3-15-2
TEL:090-2230-2081 FAX:03-6869-9219
Mail:mail@kato-takuma.com
HP: <http://www.kato-takuma.com/>

日本を愛する良識を胸に
固定概念に囚われた常識を

ぶち壊す!

多様な子育てニーズへの対応、患者に寄り添った医療・介護、
住み続けたいまちづくりを実現します。
しかし財源・資源・人財は限られています。
税金の無駄づかいをなくし、行政の最適で健全な経営へ向けての
施策立案、行政へのチェック機能の役割を果たすことは
一議員として当たり前の責務です。

1 イノベーションによる諸課題の解決!

国家戦略特別区域制度の活用でイノベーションを巻き起こします。
この制度は国の法律の緩和・変更できる強力な法律です。
規制緩和を進め、常識にとらわれない新たな技術革新を促します。

アイデアによるゼロ円政策推進／ドローン、AI等による新産業革命

2 科学的知見に基づいた政策判断!

感覚ではなく、科学的根拠を持った正論で政策を語るべきです。
原発事故による放射線量、築地・豊洲の土壌・地下水の環境基準ばかり、
ともすれば世論はゼロリスクを求めがちですが予算度外視となります。
科学技術をもって、さらに適切な判断基準を作ります。

予防医療の推進による医療費の削減／ノスタルジー抜きの合理的な判断

3 若者が協同するワクワクする社会の創造!

地域に眠る若者を中心とした人的資源の発掘を行い、地域力を
向上させます。若者が集まり、語り合える仕組みを作り、
地元の仲間の絆をより深めていきます。
そして地域の次の担い手となり、持続可能な地域活動・自治体としての
骨格作りのさらなる推進をいたします。

若者人財の発掘による地域力向上／家族が安心するコミュニティ構築

区政運営は企業と同じで「ヒト」「モノ」「カネ」「情報」の4つの柱が重要です。
運営を間違えれば、夕張市のように自治体といえども破綻します。
それぞれの柱をビルドアップ、ブラッシュアップすることで
持続可能な区政運営が可能となります。

持続可能な 中野区政運営

区の運営に必要な4つの柱

ヒト モノ カネ 情報

- 情報分析・AI活用
施策の合理化
- ICTを活用した
安全・安心まちづくり
- 中長期的な財政運営
- 直近の財政課題への対応
- 強靱なまちづくり
- 楽しめる公共施設整備
- 区職員の働き方改革
- 若者参画による
地域力の向上

中野区役所内の働き方改革

区職員のやる気が上がる職場環境づくりの推進！！

○人事評価システムの改善

公務員の仕事はミスが許されません。ミスを減らすために、新たな挑戦をしない職員ばかりとなります。チャレンジした職員が評価されるシステムに！

○副業の推奨

区で働き始めると役所内の論理が自分の価値観のすべてになります。新たな発想を得るため、ボランティア・NPOなどの積極的な参加を推奨します！

○ダイバーシティマネジメント(多様な価値観)

一家団欒でテレビを見ていた時代から、各個人がスマホで情報を得るようになり、価値観は多様化しました。もはや価値観を一つにはできませんが、目標を一つにすることは可能です。誰もがイキイキできる社会に！



記事をチェック！

若者参画による地域力の向上

区政運営は町会・自治会なしに成立しません。 地域力向上のため、若い力・担い手の育成・発掘をします。

○郷土愛を育む教育

中野の素晴らしい歴史(日本初の公園、花見文化発祥の地、日本初の電車の始発駅など)を小中学生に学んでもらい、郷土愛を育みます。歴史民俗資料館のリニューアルの提言をしました。中野が好きだ、となるように！



記事をチェック！

○地域デビューの入口の創出

中野区は年間人口の10%が入れ替ります。区への転入者が地域デビューしたくなる、その入口を創ります。電子掲示板であるマチマチの導入(実績)、地域の飲食店から始まる好循環なコミュニティーづくりを進めます！

強靱なまちづくり

地震、台風が常襲する日本において、形あるものの維持は非常に困難です。 有事に対応できる整備が必要です。

○新・区役所の整備

現在の区役所庁舎は大地震に対して既存不適格であり、早急な整備が必要です。新庁舎は、土地の広さ等の様々な制限がありますが議論を重ね、後悔ない整備を進めます！

○小中学校等再編・改修

子どもたちの教育環境、有事の際の拠点として、地域の声を受けた整備を行います。

○ノスタルジーの成仏の提唱

中野サンプラザ解体、桜を代表とする既存樹木の老朽化による伐採は住民の関心事であります。放置することは行政の不作为となります。例えば、樹木においては樹齢などの情報整理し(実績)、事前に伐採することを周知することが重要です。



記事をチェック！

楽しめる公共施設整備

多様なニーズに対応した楽しい施設整備を目指します。

○新・中野サンプラザ

再整備が決定した中野サンプラザはランドマークとしての存在だけではなく、区民が利用する施設に！



記事をチェック！



○スポーツ・BBQ・ドッグラン等ニーズに対応する公園

公園を事業者が管理することで、様々な目的で利用できるようにし、また行きたいと思える公園に、そして管理費を稼ぐ公園に。

○区内施設Wi-Fi環境

現在、駅周辺を中心に設置が進んでいるWi-Fiを区内施設内においても利用できるように。

中長期的な財政運営

少子化による歳入の減少、高齢化による歳出（社会保障費）の増加に対する備えがさらに必要です。

○財政基盤の構築

地方自治体の財政において、中長期的な予測がされた例はないため、日本初のオープンデータを活用した自治体財政のマクロの将来推計手法を提案し、議会で議論（実績）を重ねてまいりました。



記事をチェック！



○予防医療推進による医療費削減

大阪警察病院は、歯科医療および口腔機能管理の充実による医療費削減が期待できるとの研究結果を報告しております。「口の健康が体全体の健康」を合言葉にこれを推進します。またスポーツにおいても野球ひじ健診を開催する（実績）など予防医療に力を注ぎます。



直近の財政課題への対応

今、直面している問題への対策が必要です。

○ふるさと納税制度反対

東京都のすべての自治体でマイナス効果をもたらす「ふるさと納税制度」に断固反対です。目黒区のタレントグッズが返礼品になる事例から、中野区が誇るアニメとの連携を図り、制度に対して抗います。

○民間活力を活かした区政運営・施設改修

民間ノウハウを導入し、行政サービスの低下をさせずに、財政の歳出を抑制します。

情報分析・AIによる施策の合理化

区には多種のアンケート調査があり、そのデータを分析することで施策の合理化を図ります。

○官民データ推進活用法

国の法律では個人情報保護の下、データ分析を推進しています。子育て、医療、福祉、介護など様々なデータを分析し、施設の適切な配置、定員数、質などを根拠をもって、政策として推進いたします。

○AI・IoT の導入推進

自動改札機の登場は人から仕事を奪ったわけではなく、人を地獄のような作業から解放しました。機械ができる仕事はできるだけ移行を推進します。まずは防犯カメラのネットワークによる安全性の向上を図ります。

ICTを活用した安全・安心まちづくり

イノベーションを創造しながら、区民の安全安心に資する技術開発・導入を推進いたします。

○災害予報情報の拡充

ソフト対策として、災害予報情報が得られる環境を創造し、避難を誘導します。そのための前段の試みは地域の皆様のご協力があり、マニフェスト大賞 政策推進賞ノミネートとなりました。



記事をチェック！



○イノベーションを創造できる環境づくり

国家戦略特区に申請し、様々な技術革新ができる土壌を作り出し、ワクワクする中野にいたします。